

イエスは弟子としての重要な問題について語る

イエスに同意することの重要性
ルカ12章8-12節

8 「あなたたちに言います。人々の前でわたしを公に告白する者は、人の子もまた神の御使いたちの前でわたしを公に告白するでしょう。9 しかし、人の前で私を否認する者は、神の御使いたちの前でも否認されるでしょう。

10 そして、人の子に対して何か言う者は皆赦されるでしょう。しかし、聖霊に対して冒瀆的な言葉を使う者は赦されません。

11 会堂や役人、権威者たちの前に引き出されたとき、どう弁明しようか、何を言おうかと心配してはなりません。12 そのとき、聖霊が、何を言うべきかを教えてくださるからです。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	ユダヤのどこかで何千人もの群衆に語りかける
タイムライン	10月または11月 (33、34か月目)
イエスの生涯の文脈	第六段階：イエスの後期ユダヤ教宣教
	D. イエスはユダヤで宣教し、弟子たちを訓練する
	3. イエスは弟子としての重要な問題について語る
タイトル	i. イエスに同意することの重要性

コメント：

ルカによる福音書は、イエスが生涯の最後の6か月間にユダヤとペレアを旅した物語 (ルカ9:51 ~ 19:27) を今日再び弟子としての生き方というテーマに戻します。

デイリー・ジーザス・ニュース #186

イエスは、わずか7か月後に地上を離れて天国に行くことを知っていたので、死、復活、昇天、そしてペンテコステの聖霊降臨の後に、およそ120人の全時間弟子たちを訓練し、すべての国々への奉仕と使命を継続できるように準備する最後の努力をしていました。

イエスが復活後に弟子たちが直面するであろう迫害について語ったという事実は、イエスがこれらの節で弟子たちを将来に向けて訓練していたことを示しています。

この章は、イエスをご自身に従うための三つの相互に関連する核となる原則 / 実践を、愛を優先すること、御言葉に従うこと、そして祈りであると定義することから始まりました (ルカ10:25-11:13)。次にイエスは、弟子にとって最大の危険である偽善という霊的な深淵について触れました。イエスはパリサイ人の悪い例を教訓として用いました (ルカ11:14-12:7)。

この部分で、イエスは、福音を宣べ伝えていた大勢の群衆が提起した問題を、さらなる弟子訓練のきっかけとして利用しました (ルカ12:8~13:30)。

信者はイエスに従い始めると、世に「残」られるものの、世のものになっはなりません。つまり、イエスに従い始める前に培った古い態度や世界観は、徐々にイエスの新しい、神の国に根ざした態度と視点に置き換えられなければなりません。群衆の中にいた人々の一般的な態度は、弟子たちがイエスの「新しい」生き方と置き換える必要があった「古い」考え方の完璧な例でした。

今日の聖書箇所は、キリストの弟子として「キリストを告白する」ことの重要性を強調しました。

偽善は、内なる思考や動機と、外面的な行動との間に乖離を生み出します。一方、弟子となることは、聖霊と御言葉によって私たちの内に生きる、イエスご自身の不変の存在と人格に、私たちの内面にあるすべてを合わせる過程であり、私たちの内面と外面の両方がイエスの一貫した表現となるようにすることです。

弟子としての目標は、すべての点でイエスのようになることなので、「告白」はこの成長過程の中心となります。

「告白する」とは「同意する」という意味です。弟子はイエスと議論したり、イエスを変えようとしたりしません。むしろその逆です。イエスをご自身を私たちに明らかにされました。ですから、私たちはあらゆる面でイエスに合わせようと努めます。イエスに「同意する」につれて、私たちは絶えず変化し、成長していくのです。

主であり救い主であるイエス様との個人的な関係は、信仰によって始まります。それは、私たちがイエス様がどのような方であるか、そして罪人である私たちがイエス様を必要としていることを「告白」し、イエス様と同意することです。私たちは心の中でイエス様を信じているからこそ、口と行動でその告白を表明するのです。

そうすると、私たちのキリスト教徒としての生活はすべてにおいてイエスに同意し続けることとなるのです。

デイリー・ジーザス・ニュース #186

御言葉は神について語り、聖霊は私たちの心に神の言葉が真実であることを証ししてくださいます。ですから、私たちは古い考えや態度を捨て、神がどのような方であり、何をなさるのかを新たに発見するたびに、神に同意するのです。人々への愛ある奉仕と、他の人々への証しは、どちらも神に同意することなのです。イエスは、私たちが神に同意できるように、聖霊の力を約束してくださいました。

イエスに同意することを拒否することは、聖霊を拒絶することと同じです。「キリストを告白」しないことは、聖霊に対する冒涇に等しいため、実に深刻な問題です。一方、真の弟子たちは「イエスに同意する」という生き方に情熱を傾けます。

応用：

イエスに赦しについて同意し、あなたが変わらなければならない点において、あなたの心の中でイエスと完全に一致するように祈り求めてください。神の御心があなたの中で成されるように祈るなら、イエスの霊があなたの中でそれを成し遂げてくださいます。

今、イエスに「同意」するためには、どのような態度や行動が必要ですか？

あなたの価値観やライフスタイルの中で、神のやり方に抵抗してきた部分がありますか？